

苦小牧市図書館蔵書整備計画
具体的な取組の実施状況について

評価（自己評価）（S）既に達成している（A-1）継続して実施する（これまで通り）
（A-2）継続して実施する（内容を変えていく）（B）これから着手する（C）計画の見直しが必要

基本方針	具体的な取組	取組 番号		取組 状況	評価	令和2年度～令和5年度の取組状況	令和6年度以降の取組予定
1 魅力ある蔵書の構築	(1) 魅力ある棚づくりの構築	①	既存の蔵書構成の見直しや分類別の購入比率の見直し	継続	A-1	収集基準や蔵書整備計画に基づき、資料購入を行っており、指標目標の購入冊数比率や蔵書比率を達成している。	引き続き収集基準や蔵書整備計画に基づき購入を行っていくとともに、蔵書構成や分類別だけでなく、ニーズの高い資料分野においても購入を進めていく。
		②	資料要求の高い分類・分野の分析を行い、該当の分類・分野を幅広く収集	継続	A-1	実用書・医療健康・小説は需要が高いため、該当の資料を収集するほか、人気の本については複本購入も検討しながら利用に供している。	医療健康の資料は、寄贈資料のみならず、市内図書室も充実するよう収集に努める。
		③	家庭生活に役立つ実用書の充実	継続	A-1	全館に実用書がいきたるよう、幅広く収集している。	リクエストに応じて資料の充実を図るほか、話題の資料も収集していく。
		④	貸出しが少ない分野の蔵書構成の点検	継続	A-1	分類別蔵書冊数に対し貸出しが少ない分野としては社会科学の分野があげられる。その中でもある程度分野を細分化しながら貸出等の需要をみて、購入や除架、除籍を行って蔵書を構築していく。	資料の分野に偏りがなく、あらゆる分野の資料を収集するとともに、引き続き蔵書冊数が多すぎるような分野があれば見直しを行っていく。
		⑤	書架の増設の検討及び除籍基準に基づいた除籍	継続	A-1	リラックススペースに、書架を設置した。また、DVDやエプロンシアターなど所蔵数増加に伴い、書架を増設している。除籍基準に基づき、汚破損・複本の減・書籍内容の古くなったものの除籍を行っている。	引き続き除籍基準に基づいた除籍を行っていく。
		⑥	開架書架の新鮮さの維持	継続	A-1	毎週図書コーナー含めた全館に新刊を購入しているほか、書架を定期的に確認し、除架を行うなどして利用される書棚づくりを心掛けている。また、市内図書コーナーとの蔵書の循環を行うことで、目新しい書架になるよう工夫している。	新刊購入を行うとともに、除架や市内図書室との循環を継続する。
	(2) 子どもの読書活動の推進	①	絵本や児童書の充実	継続	A-1	以前から利用されている絵本・児童書のベストセラーを、汚損破損の程度に応じて再購入し、利用に供している。また、新規に出版された資料に関しても、積極的に購入しており、今後も継続する。	引き続き、新刊絵本や児童書の購入と、ベストセラーの入替を行う。
		②	年齢に応じた資料の収集	継続	A-1	「子供と出会ってほしい本」コーナーに、年齢別のおすすめ資料を設置するほか、出版社の発行している「いくつの本」という関連パンフレットの配布と特集展示を実施。また、幼児コーナーの資料を更新している。	幼児絵本などの収集に努めるとともに、学年ごとの推薦図書は複数冊購入する。
		③	学習指導に活用される資料の収集・提供	継続	A-1	学習指導要領にそった「ブックちゃん」の提供のほか、書架でも提供対応できるように資料収集を行っている。	単元に沿った資料の収集に努める。
		④	学校図書館を支援する資料の充実	継続	A-1	「まなぶくん」事業で、学校図書館運営相談に対応するほか、図書館司書から団体貸し出しや「ブックちゃん」利用問い合わせについて対応している。	「ブックちゃん」の内容更新は、学校の教諭と相談しながら適宜行っていく。
		⑤	新たな学習指導に対応できる資料の充実	継続	A-1	教科書改訂の情報収集に努め、新規に追加された授業内容に対応できるよう、資料収集を行っている。	教科書改訂に応じ、学校図書館協会などとも協力する。
		⑥	YA世代の興味・関心を引き出し、知的好奇心に応えられる資料の収集	継続	A-1	令和3年度に「YAコーナー」のリニューアルを行い、設置書籍も一新して中高生の目に留まるような工夫を行った。現代の中高生の感性に合わせた資料を収集している。	引き続き現代の中高生の感性やニーズに合わせた資料収集を継続する。
		⑦	（仮称）YAサポーターの設立	継続	A-1	「YA同盟」として、中高生によるおすすめ本紹介コーナーを定期的に変更して交流の場を設けた。職業体験やインターンシップの際に、活用されている。	職業体験等での活用に努める。

苦小牧市図書館蔵書整備計画							
具体的な取組の実施状況について							
評価（自己評価）（S）既に達成している（A-1）継続して実施する（これまで通り） （A-2）継続して実施する（内容を変えていく）（B）これから着手する（C）計画の見直しが必要							
基本方針	具体的な取組	取組番号		取組状況	評価	令和2年度～令和5年度の取組状況	令和6年度以降の取組予定
2 地域の情報拠点としての蔵書の構築	(1) 多様な資料要求に応えられる蔵書の充実	①	身近な課題解決を支援する資料の収集	継続	A-1	「育児・子育て」「ビジネス」「医学・健康」については、情報発信コーナーや特集コーナーを設置し、課題解決の支援を行っている。また、資料も更新している。	特集コーナーの継続的な更新や、話題になった資料の収集に努める。
		②	正確で新しい情報を提供できる資料の収集	継続	A-1	法律の改正などに応じて、その都度収集している。また、旅行ガイド等は、利用の需要があるため、新しい出版年のものを積極的に購入している。	出版状況に応じ、資料収集に努める。
		③	最新の情報が入りやすい、新聞・雑誌資料の収集	継続	A-2	新聞・雑誌は、利用者のニーズに応じて購入しているが、廃刊・休刊になることも多い。	今後の推移を注視して、対応する。
	(2) 情報拠点として地域資料・情報の収集	①	郷土資料の網羅的な収集・充実	継続	A-1	出版情報を入手しだい、購入・寄贈依頼を行い積極的に収集している。また、書籍だけではなくパンフレットやリーフレットなども随時収集につとめている。	現在の収集を継続する。
		②	近年の苦小牧に深く関わる資料の収集	継続	A-1	出版情報を入手しだい、購入・寄贈依頼を行い積極的に収集している。また、書籍だけではなくパンフレットやリーフレットなども随時収集につとめている。	現在の収集を継続する。
		③	工業や産業分野の資料の収集	継続	A-1	出版された資料に関しては、積極的に購入しており、今後も継続する。	現在の収集を継続する。
		④	観光案内パンフレットやイベントのポスター等、苦小牧市の紹介・解説資料の充実	継続	A-1	「観光案内パンフレット」は、苦小牧市や道内の内容を更新し、今後も一定の期間で更新していく。「港まつり」や「スケートまつり」のポスター収集の継続や、郷土資料室内に、郷土資料の紹介コーナーを設置。	現在の収集を継続する。
		⑤	苦小牧ゆかりの人物に関する著作の収集及び「苦小牧はじめて物語」の充実	継続	A-2	人物紹介の「苦小牧はじめて物語」から、事物に幅を広げた「とまチョップの苦小牧さんぽ」に変更。	ゆかりの人物の著作については、現在の収集を継続する。
		⑥	郷土セミナー等の郷土資料化の検討	継続	A-1	「レッドイーグルス北海道選手おすすめ本リスト」等を郷土資料として登録を行っている。また、東開文化交流サロン図書室で実施したイベントの作品を掲載している。	中央図書館で毎年実施している郷土文化セミナーの内容の資料化を検討する。
		⑦	収集した資料の電子化の検討	継続	A-1	郷土資料として収集した図書について、著作者に電子図書館での公開を持ちかけ、新たに電子書籍化し独自資料として公開している。	図書館で作成した郷土資料の他、電子書籍化を継続的に検討する。
3 すべての市民の多様な情報活用を支援する蔵書の構築	(1) 特徴ある資料の収集	①	電子書籍の充実及び新たな利用者の獲得	継続	A-1	「ICT講座」や「見学ツアー」で電子図書館のPRを行っている他、他自治体と独自資料をお互いに公開する「電子図書館資料交流展示」を実施。有料コンテンツはもちろんのこと、独自資料の登録も行っている。	電子図書館のより広い周知に努める。
		②	図面等の電子資料の収集、提供の検討	継続	A-1	電子図書館に「デジタル伊能図」を導入した。	現在紙で収集している行政資料の都市計画図やハザードマップなども収集していく。
		③	収集基準に基づく録音・点字資料等の収集	継続	A-1	点字資料については、寄贈いただける資料を登録所蔵している。録音資料は、毎年予算をつけて新規「録音CD」を継続購入している。	現在の収集を継続する。
		④	洋書や大活字本等の収集	継続	A-1	「洋書」コーナーと、「大活字本」コーナーは、資料を積極的に収集するほか、設置場所を拡大し、利用に供している。	現在の収集を継続する。

◇◆蔵書整備計画の中間目標とその結果について

	中間目標（R5 年）	R5 年度実績	達成率
蔵書冊数	547,000 冊	577,839 冊	105.64%
人口一人当たり貸出冊数	4.8 冊	4.1 冊	85.42%
文学・絵本以外の購入冊数比率	54.3%	58.6%	107.92%
技術・工学、産業分野の蔵書比率 （一般書）	11.8%	11.8%	100%
電子書籍の所蔵資料冊数	11,000 冊	11,327 冊	102.97%
大活字・LLブック・洋書の所蔵 資料冊数	2,500 冊	2,687 冊	107.48%
ビデオ・DVDの所蔵資料数	2,000 点	2,003 点	100.15%

基本方針 1

◆蔵書冊数

蔵書冊数については、所蔵スペースを工夫して増やすなどしながら令和 5 年度に 547 千冊を目指し、その後は冊数を維持する計画でした。しかし、令和 4 年 12 月に東開文化交流サロンがオープンし、約 28 千冊を所蔵できる図書コーナーが併設されました。

令和 5 年度までで 28 千冊が所蔵され、苫小牧の図書館全体としては 577,839 冊の所蔵となり、目標の達成率は 105.64%となりました。これ

までのキャパシティの実績から、所蔵冊数の 1.6 倍は収容できると見込んでいることから、東開図書コーナー分として年 1600 冊の増を目指し、令和 10 年度の目標蔵書冊数は 583 千冊に変更したいと考えています。

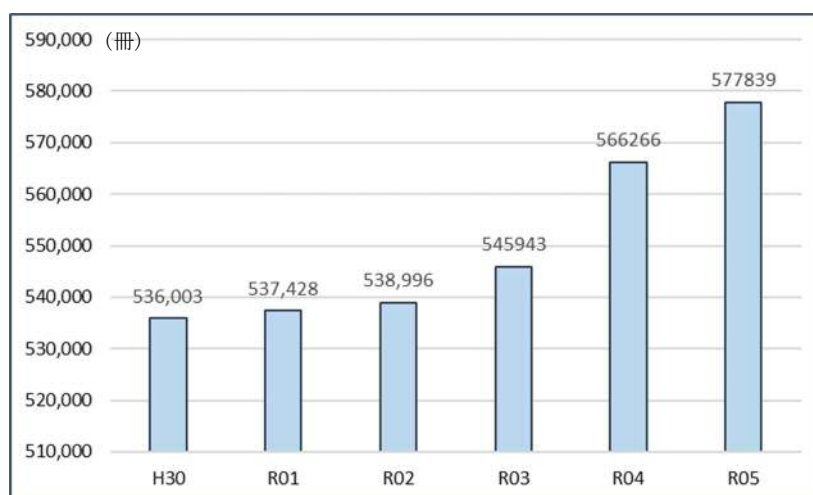


図 1：苫小牧市の蔵書冊数推移（全館）

◆人口一人当たり貸出冊数

人口一人当たり貸出冊数は、一般書と児童書の貸出冊数を人口で割ることで算出しており、令和5年度の実績は一人当たり4.1冊でした。目標値は4.8冊としておりましたが、達成率は85.42%となりました。

令和2年度と3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休館したこともあり、貸出冊数は大きく減少していますが、コロナ禍から回復してきた令和4年度からも数字が伸び悩んでいます。

現在、令和10年度の目標値は一人当たり貸出冊数を4.9冊と設定していますが、現状では高すぎる目標値と考えるため、令和5年度実績を基に年2%増を目指し、計画の基準値である平成30年度の4.7冊に変更したいと考えています。



図2：貸出冊数と人口一人当たり貸出冊数の推移（全館）

基本方針 2

◆購入冊数比率、技術・工学と産業分野の蔵書比率

新刊購入に際しては、蔵書整備計画に基づいて文学や絵本以外の分野の本の購入率を少しずつ増やそうにした結果、令和5年度の文学・絵本以外の購入冊数比率は58.6%となり、目標達成率も107.92%でした。

こうした購入等の結果、技術・工学と産業分野の蔵書比率は中間目標値である11.8%を達成しました。

このことから、「文学・絵本以外の購入冊数比率」及び「技術・工学と産業分野の蔵書比率」の令和10年度の目標値は変更なしにしたいと考えております。

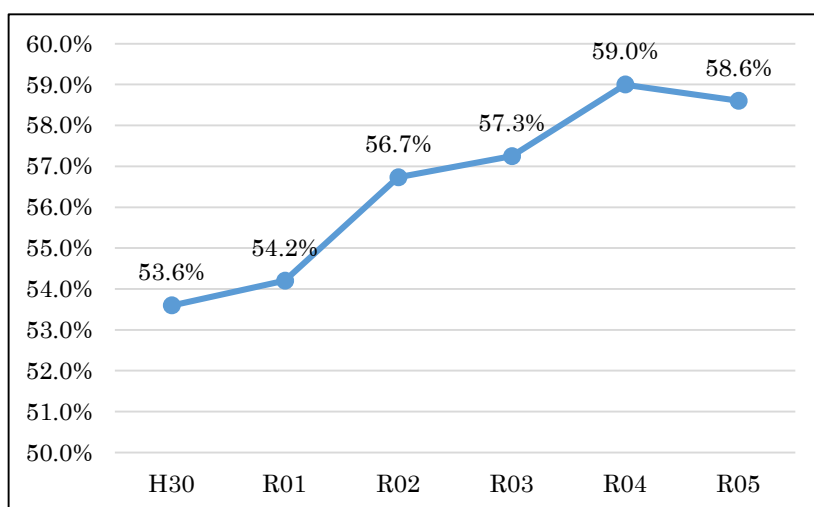


図3：文学・絵本以外の購入冊数比率

基本方針 3

◆電子書籍の所蔵資料冊数

電子図書館サービスは、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、利用が顕著に伸びているサービスです。令和 2 年度には地方創生臨時交付金を活用し、児童向けの電子書籍を多数購入したほか、令和 3 年度以降においても、継続的な購入を行い、令和 5 年度の電子書籍所蔵資料冊数は、11,327 冊になりました。

中間目標である 11,000 冊を超え、達成率は 102.97%となりました。

電子書籍の所蔵冊数につきましては、引き続き継続的に購入していく方向で、令和 10 年度の目標値は変更なしとしたいと考えております。

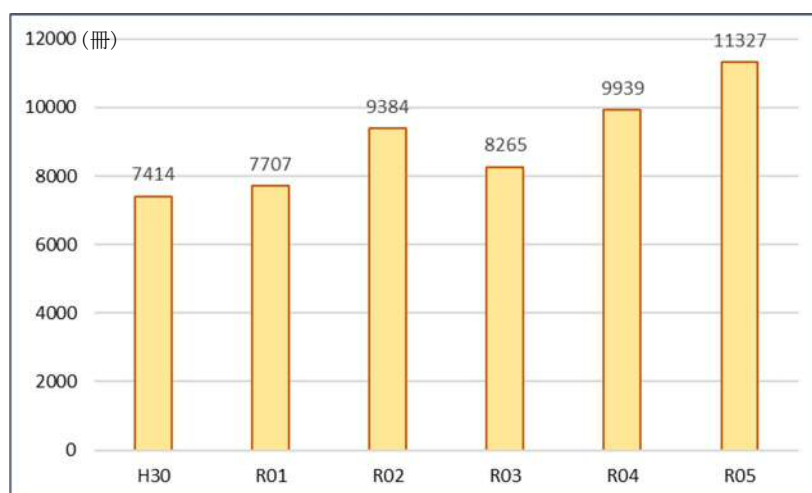


図 4：電子図書館における電子書籍の所蔵冊数

◆大活字・LLブック・洋書の所蔵資料冊数、ビデオ・DVDの所蔵資料数

令和元年 6 月に読書バリアフリー法が公布・施行され、障がいの有無にかかわらず、全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるような読書環境の整備が求められています。

中央図書館では、読書バリアフリー法が施行される前から、資料の収集・提供に努めおり、また、前述の東開文化交流サロンにおいては、図書機能と福祉拠点機能を兼ね備える施設として、福祉関連の本に加え、

大活字本や LL ブックなどを多数所蔵しています。こうしたことから、令和 5 年度の大活字・LL ブック・洋書の所蔵資料冊数は、2,687 冊となり、目標の 2,500 冊を超えました。達成率は 106.56%となっています。

大活字・LL ブック・洋書などの特徴ある資料については、引き続き積極的な購入に努め、令和 10 年度の目標値は変更なしとしたいと考えております。

また、ビデオ・DVDの所蔵資料数は 2,003 点となり、目標の 2,000 点とほぼ同様の点数を所蔵することができました。こちらも引き続き購入し、令和 10 年度の目標値は変更なしとしたいと考えております。

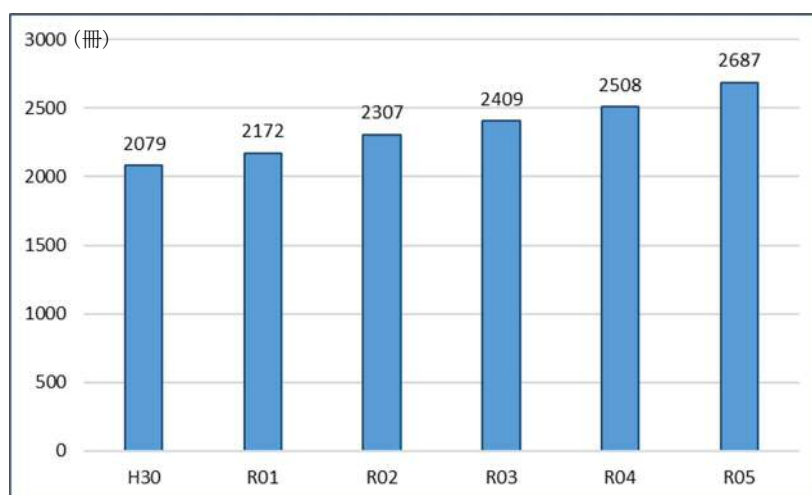


図 5：大活字本・LL ブック・洋書の所蔵資料数